

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

【水への配慮】

お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

ポスト口に、ホースなどで直接水をかけないでください。
内部の郵便物が濡れるおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると、変色するおそれがあります。
付着した場合は、すみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

お願い

【アルミ製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【スチール製商品】

玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても、艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていないワックスを使ってお手入れすることをお勧めします。

※ワックスの一例：植物成分100%のワックス

※ワックスを使用する際は、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。

ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【アクリル・ポリカーボネート板】

商品に有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーを塗布・散布しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れが発生するおそれがあります。

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついた場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

【電動商品】

お手入れの際、電装部品に水がかからないようご注意ください。
水がかかると、故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

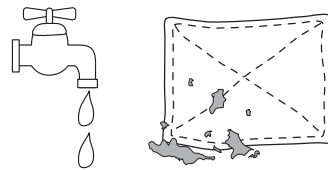
お手入れ方法

■通常のお手入れ（ハンドル・引手含む）

1

表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。

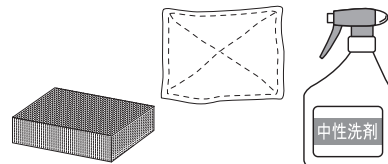


2

水ぶきする

柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

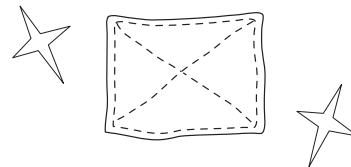
※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3

水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。

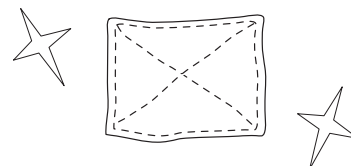


■結露・雨水などがかった場合

1

水分をふき取る

すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



下枠・レール

- 下枠やレールは、特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

■下枠・レールのお手入れ

1

砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。

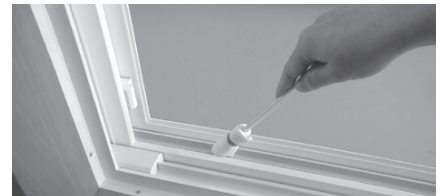
または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



2

汚れをふき取る

割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



■土間引戸の下枠レール間に水がたまった場合

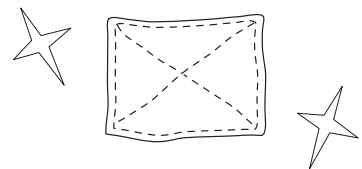
1

水分をふき取る

下枠に水がたまった場合は、乾いた布で水分をふき取ります。

お願い

時間が経つと水は流れていきますが、気になる場合は、ふき取ってください。

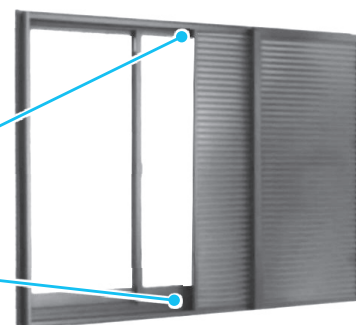


下部錠受けの調整方法

カギがかからなくなったり、かかりが悪くなった時は、錠受けの位置を調整してください。

上部錠受け
兼はずれ止め

下部錠受け



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 取り付けネジをゆるめる

プラスドライバーで下部錠受けの取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

※下部錠受けは、雨戸を閉めた状態で調整することができます。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。
部品が落下するおそれがあります。



取り付けネジ

2 錠受けの位置を調整する

錠受けを左右に動かして位置を調整します。

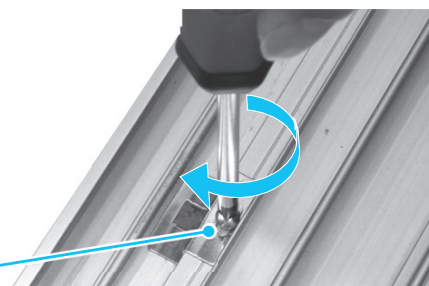
※下部錠のかかり具合を確認しながら調整してください。



3 取り付けネジをしめる

プラスドライバーで取り付けネジを時計回りにまわしてしめます。

取り付けネジ

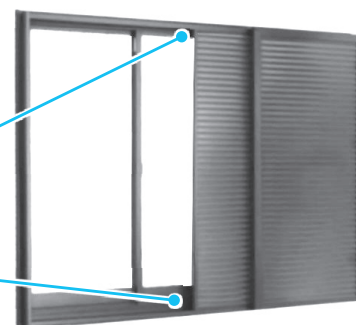


上部錠受け兼はずれ止めの調整方法

カギがかからなくなったり、かかりが悪くなった時は、錠受けの位置を調整してください。
なお、上部錠受けは、はずれ止めの役割も兼ねています。

上部錠受け
兼はずれ止め

下部錠受け



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 雨戸を開け、取り付けネジをゆるめる

雨戸を開け、プラスドライバーで上部錠受け兼はずれ止めの取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。
部品が落下するおそれがあります。



取り付けネジ

2 錠受け兼はずれ止めの位置を調整する

錠受け兼はずれ止めを左右に動かして位置を調整します。

※上部錠のかかり具合を確認しながら調整してください。



3 取り付けネジをしめる

プラスドライバーで取り付けネジを時計回りにまわしてしめます。

※雨戸を持ち上げるようにして雨戸がレールからはずれないことを確認してください。



取り付けネジ

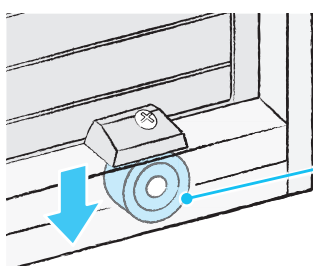
戸車とは

各雨戸の下両端（内部）にある車輪状の部品で、戸車を調整すると雨戸の高さが変わり、傾きを調整することができます。雨戸がピッタリ閉まらないときは、戸車を調整してください。

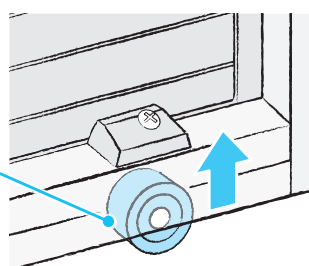
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

雨戸が下がった状態



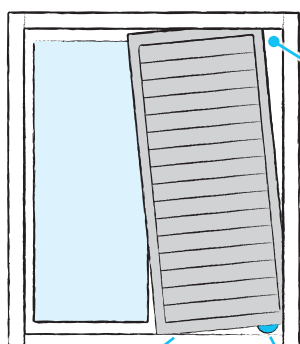
雨戸が上がった状態



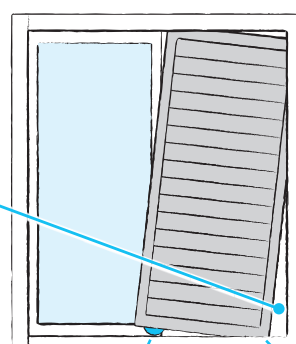
戸車

※戸車の形状は商品によって多少異なります。

上にすき間がある場合



下にすき間がある場合



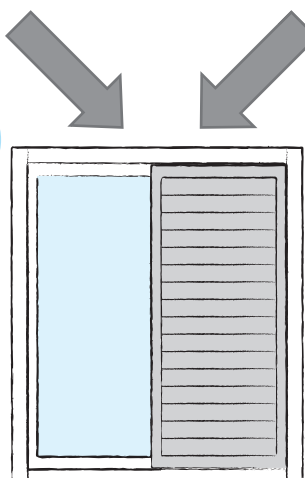
すき間

雨戸を
上げる

雨戸を
下げる

雨戸を
下げる

雨戸を
上げる



ピッタリ!!

戸車の調整方法

雨戸を閉めてもピッタリ閉まらないときは、戸車を調整して雨戸の傾きを直してください。戸車調整ネジは室内側の下部に2か所あります。

戸車調整ネジ



〈室内側〉

1

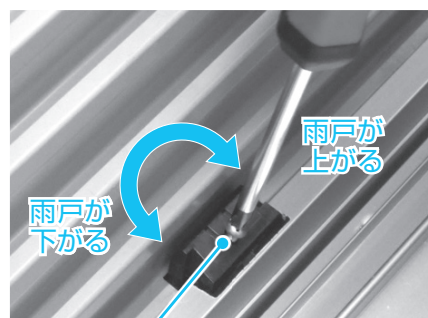
戸車を調整する

プラスドライバーで戸車調整ネジをまわして、戸車を調整します。

※戸車を調整すると雨戸の高さが変わります。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。



戸車調整ネジ